

# この本の特色と使い方

この問題集は、これまで身につけた学習内容を使って、実際の適性検査にそった問題で演習するための教材です。

実際の適性検査の問題は、問題文が長く、1つの問題の中にさまざまな要素がふくまれています。そのため、実際の適性検査の問題を解くには、これまで身につけてきた知識をどのように用いるのか、問題文の中からどのように必要な要素を見つけ出すのか、といった訓練が欠かせません。

各課は、練習問題と実戦問題の2つで構成されています。

練習問題では、適性検査を受ける上で重要だと考えられる内容を中心に扱っています。実戦問題では、難易度や形式など、より適性検査に近い問題を扱っています。練習問題→実戦問題と段階的に進めて、着実に実力を身につけていきましょう。

Sample

## も く じ

- 1 暮らしの問題のまとめ…………… 2
- 2 意見や考えを書く問題のまとめ…………… 17
- 3 資料を活用する問題のまとめ…………… 18
- 4 さまざまな立場から考える問題のまとめ…………… 33

### ③

## 資料を活用する問題のまとめ

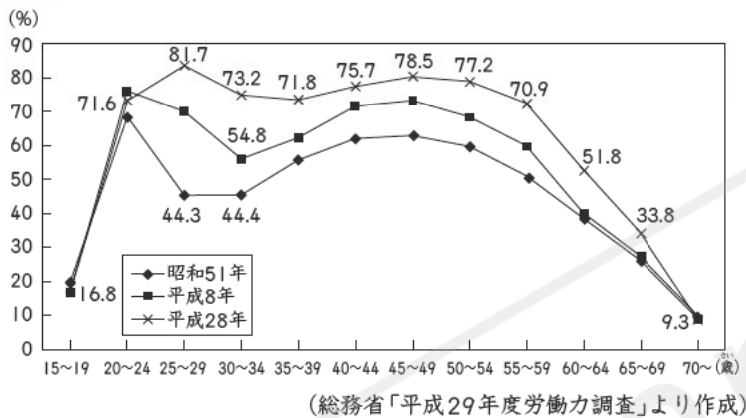
### テーマ

- 資料に見られる変化の原因や背景<sup>はいけい</sup>について考える。
- 資料が示していること<sup>しめ</sup>について自分なりに分析<sup>ぶんせき</sup>する。
- 資料から見つけたことを自分の言葉でまとめる。

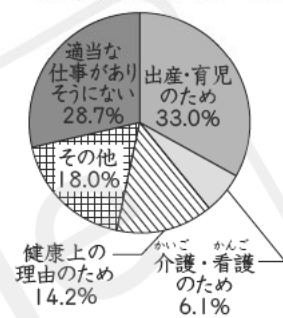
## 練習問題

- 1 次の資料1は、女性の労働力の割合を年齢<sup>ねんれい</sup>別に表したグラフです。このように折れ線グラフが途中で下向きになってからまた上向きになっている理由<sup>わけ</sup>について、資料2を参考にして書きましょう。

資料1



資料2 現在働いていない女性が仕事を探していない理由



- 2 次の資料は、日本および諸外国の満13歳から満29歳までの男女が自国で誇れるものは何かを調査したときの結果を表にしたものです。資料の中から1つの国を選んで、なぜそのような結果になったのか、自分なりに分析して書きましょう。また、その国について知っていることで分析のために利用したものがあれば、それも書きましょう。

資料

	1位	2位	3位
日本	治安のよさ 57.2%	歴史や文化遺産 52.6%	文化や芸術 41.2%
アメリカ合衆国	科学や技術 36.4%	歴史や文化遺産 36.2%	スポーツ 32.2%
イギリス	歴史や文化遺産 48.0%	スポーツ 32.2%	文化や芸術 29.6%
ドイツ	生活水準 44.3%	科学や技術 39.7%	教育の水準 35.9%

\*複数回答式

(内閣府「平成25年度我が国と諸外国の若者の意識に関する調査」より作成)

選んだ国( )

分析：

- 3 次の資料は北海道<sup>ほっかいどう</sup>と他の都府県の農家を比べた表です。この表からわかる北海道の農家の特色を、「効率」と「1経営体あたりの農業粗収益<sup>あらしゅうえき</sup>」という言葉を使って書きましょう。なお、「農業粗収益」とは1年間の農業経営で得られたすべての収益を合計したものです。

資料

		北海道	他の都府県	年次
1経営体あたりの経営耕地面積		28.2ha	2.1ha	平成29年
1経営体あたりの農業用機械の所有台数	動力田植機	1.07台	1.04台	平成27年
	トラクター	3.53台	1.26台	平成27年
	コンバイン	1.24台	1.05台	平成27年
1経営体あたりの農業粗収益		3075万円	514万円	平成28年

(北海道農政部資料, 2015年農林業センサスより作成)

- 4 たかおくとみつこさんは、みつこさんがつくったランチョンマットを見ながら、先生と話をしています。 【東京都立三鷹中】

たかお：「きれいなランチョンマットだね。」

みつこ：「このあいだ、京都<sup>きょうと</sup>へ旅行したときに、西陣織<sup>にしじんおり</sup>の機織り機<sup>はたおき</sup>で布を織る体験をさせてもらってつくったのよ。」

たかお：「織るのは難しいのかな。」

みつこ：「難しいけれど、織り方をわかりやすく教えてもらえるの。本来、西陣織<sup>にしじんおり</sup>は絹<sup>きぬ</sup>の糸を使うのだけれど、体験コースでは綿<sup>わた</sup>の糸を使っているという話だったわ。」

たかお：「綿<sup>わた</sup>の糸と絹<sup>きぬ</sup>の糸の違いは何ですか。」

先生：「綿<sup>わた</sup>の糸は、畑で育てられている綿花を原料として、せんいの部分を取り出してつくったものです。これを綿糸<sup>わたいと</sup>といいます。それを布に織りあげたものが綿織物<sup>わたおりもの</sup>です。綿織物<sup>わたおりもの</sup>はじょうぶで水分<sup>すいぶん</sup>をよく吸い取るので、江戸時代にはふだん着<sup>ふだんぎ</sup>などに使われました。」

たかお：「では、絹<sup>きぬ</sup>の糸は何が原料になるのですか。」

先生：「カイコ<sup>かいこ</sup>がつくるまゆ<sup>まゆ</sup>が原料です。特に、まゆからとったままの糸<sup>いと</sup>を生糸<sup>なまいと</sup>といいます。生糸<sup>なまいと</sup>のつやや手ざわりが良くなるように加工して、布に織りあげると、絹織物<sup>きぬおりもの</sup>ができます。絹織物<sup>きぬおりもの</sup>は、昔から高級品とされてきました。」

みつこ：「わたしたちの住んでいる地域<sup>ちいき</sup>にある古い農家では、昔、カイコ<sup>かいこ</sup>をたくさん育てていたそう

です。カイコのえさになるくわも栽培<sup>さいばい</sup>していたと聞いたことがあります。このあたりには綿花の畑もあったのですか。」

先生：「綿花の畑はなかったそうです。綿花の栽培は、江戸時代には今の愛知県や大阪府などでさかんでした。綿糸も綿織物も、主にそれらの地域<sup>ちいき</sup>で作られていました。明治時代になっても、綿糸や綿織物はつくり続けていました。しかし、綿花の栽培はおとろえてしまいました。」

たかお：「綿糸や綿織物はつくり続けていたのに、原料の綿花を栽培しなくなったのはなぜですか。」

先生：「たかおくんの疑問<sup>ぎもん</sup>を解決するヒントになる資料があります。次の表1と表2を見てください。」

表1 綿花の国内生産量と輸入量

	国内生産量	輸入量
1885(明治18)年	* 60000t	3689t
1899(明治32)年	19620t	204724t
1913(大正2)年	2902t	395115t

\*は、およその量

(「商品生産輸出入物量<sup>るいねん</sup>累年統計表」より作成)

表2 国内産綿花と輸入綿花の1トンあたりの価格

	国内産綿花	輸入綿花
1898～1902(明治31～35)年平均	423.9円	399.9円
1903～1907(明治36～40)年平均	497.9円	470.2円
1908～1911(明治41～44)年平均	569.6円	532.8円

(「大正2年3月 農務<sup>いさん</sup>彙纂第38 棉花<sup>めんか</sup>ニ関スル調査」より作成)

※綿花の価格は、気象<sup>けいざい</sup>や経済の影響<sup>えいこう</sup>により大きく変動するので、数値<sup>すうち</sup>のばらつきをなくすために、4～5年間の価格の平均を示しています。

□(1) 明治時代から大正時代初めまでの間に、綿花の国内生産量<sup>おおはば</sup>が大幅に減ったのはなぜだと考えられますか。表1と表2を利用して説明しましょう。

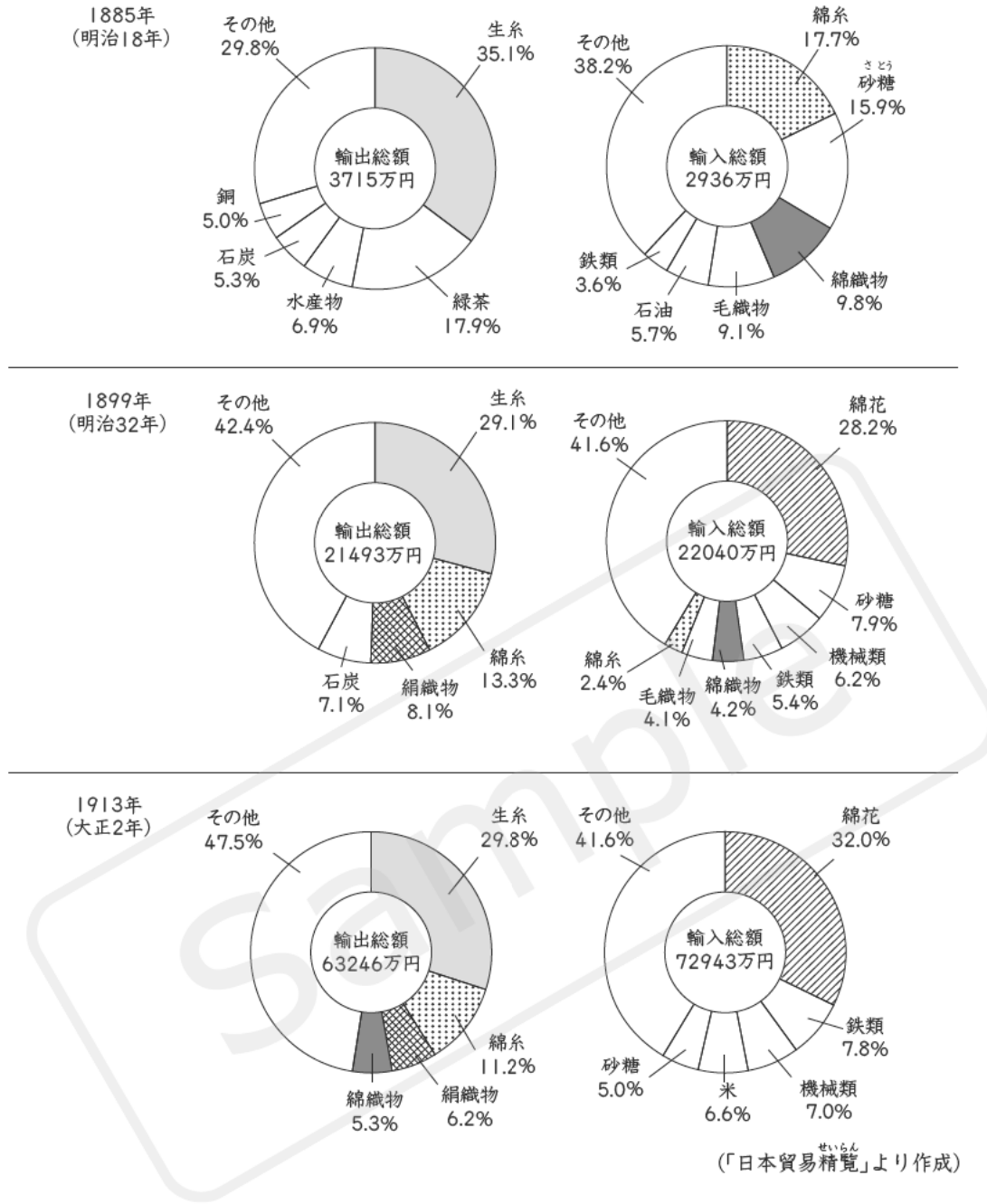
たかお：「表1を見ると、綿花の国内生産量と輸入量の合計が増えているね。」

先生：「そうです。これは、綿花を原料とした綿糸の生産量が大幅に増えていったということを意味しています。」

みつこ：「なぜ、綿糸を大量に生産していたのですか。」

先生：「当時の日本は、それらの輸出を増やし、貿易を通じて外国から得られる利益を多く確保しようとしていたのです。しかし、貿易全体としては問題が生じてきました。表1と同じ時期の輸出入のようすを示した図1を見てください。」

図1 輸出入総額にしめる主な品目の割合わりあい

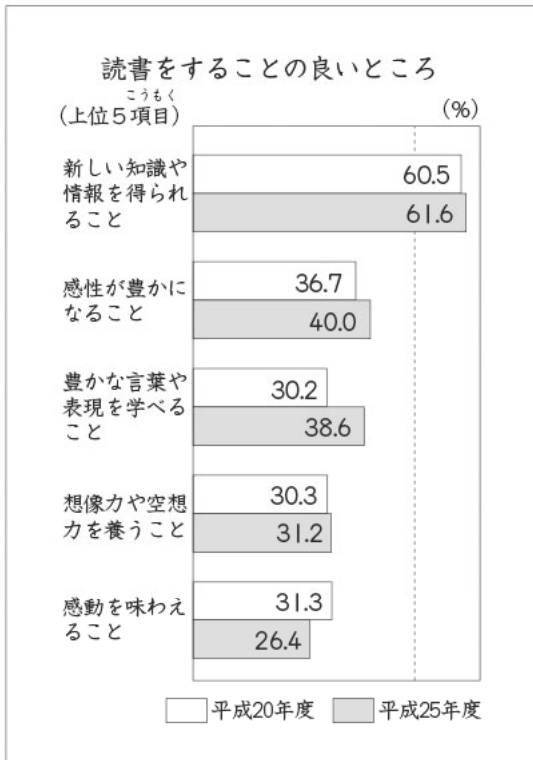


□(2) 図1を見て、綿糸や綿織物の輸出入はどのように変化したか説明しましょう。

[ ]

□(3) 図1を見て、輸出入総額の変化によって貿易全体に生じた問題を説明しましょう。

[ ]



(文化庁 平成25年度「国語に関する世論調査」より作成)

(資料1)

(注) ハードウェア……ここでは、本を読むための環境を表す。  
ソフトウェア……ここでは、本がもつ時間を費やすための情報を表す。

(長田弘『読書からはじまる』より)

著作権者への配慮から、掲載を差し控えております。  
実際の教材には掲載されておりますのでご安心ください。

65

60

55

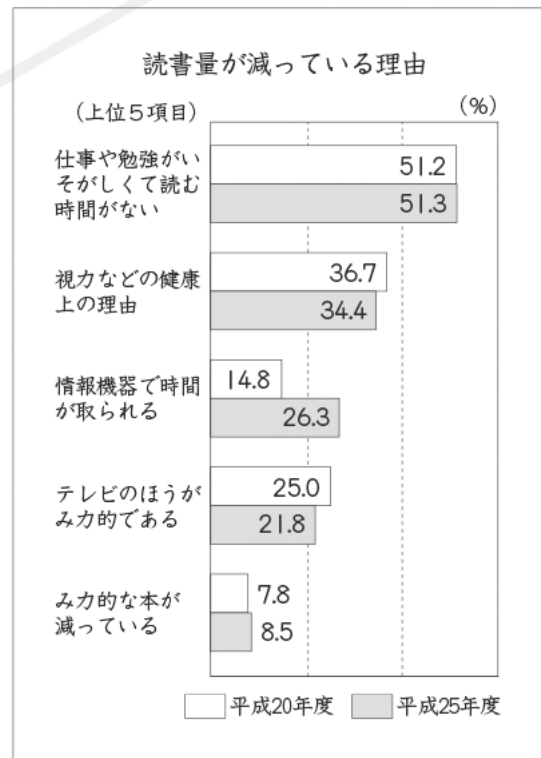
□問

2つの資料のどちらかを選び、文章の内容を結びつけながら、あなたが考えたことを、次の〈条件〉にしたがって書きましょう。  
(解答用紙は、別紙のものを使いましょう。)

〈条件〉

- ・ 三段落構成で書きましょう。
- ・ 資料1・2のどちらを選んだかわかるように書きましょう。
- ・ 選んだ資料から読み取れることと、文章の内容を結びつけて、そこから考えられることを2つ、第一段落と第二段落に分けて書きましょう。
- ・ 第三段落では、第一・第二段落の内容をふまえて、「これからどのようにしていきたいか」を書きましょう。
- ・ 原稿用紙の正しい使い方があって、三百六十字以上四百字以内で書きましょう。

(資料2)



(文化庁 平成25年度「国語に関する世論調査」より作成)

2 次の文章と、資料1・2を読んで、あとの問いに答えましょう。

(文章)

著作権者への配慮から、掲載を差し控えております。  
実際の教材には掲載されておりますのでご安心ください。

25 20 15 10 5

著作権者への配慮から、掲載を差し控えております。  
実際の教材には掲載されておりますのでご安心ください。

50 45 40 35 30





実戦問題

1 次の文章と、資料1・2を読んで、あとの問いに答えましょう。

(文章)

著作権者への配慮から、掲載を差し控えております。  
実際の教材には掲載されておりますのでご安心ください。

20 15 10 5

著作権者への配慮から、掲載を差し控えております。  
実際の教材には掲載されておりますのでご安心ください。

(波平恵美子 『生きる力をさがす旅 子ども世界の文化人類学』より)

40 35 30 25